

鳥の巣

暖冬のせいか、早くもセツブンソウやユキワリイチゲが咲き始めているようですが、もうしばらくは冬枯れの風景の話題にお付き合いください。葉の落ちたコナラの木の枝の分かれ目に、小枝のかたまりを見つけました。鳥の巣のようです。



形がいびつなので、キジバトの巣でしょうか。ハト類は、粗雑な巣をつくることで有名です。でも、それにしても大きすぎます。サイズから判断するとカラスの巣かなとも思いましたが、かつて見たことのあるカラスの巣は、きれいな洗面器型でした。強風で壊れかけたものを補修してつくったカラスの巣？といったあたりが正解でしょうか。

みなさんのお宅のお庭の木にも、鳥の巣があるかもしれません。キジバトとエナガについては、庭木に巣をかけたという話を聞いたことがあります。メジロやモズなども、こっそりと庭木に間借りしているかもしれません。ほとんどの鳥は、茂った葉にかくれるように巣づくりするので、使用中の春から夏の間はなかなか見つからず、葉の落ちた冬の間が見つかるチャンスです。ただし、巣をかけた木が常緑樹ではなかった場合の話ですが・・・・・・。